

# 鉄筋の機械式継手単体評価・ 機械式鉄筋定着を使用した コンクリート構造体評価

現場での配筋組立や配筋過密部での配筋施工を容易とする「鉄筋の新しい継手工法・定着部工法」の安全性を確認するため、母材との比較評価を行う継手単体性能確認試験や、従来工法との比較評価を行う構造体の性能確認試験をご提案いたします。

## 鉄筋の継手単体評価

出荷先より出荷する継手の全鋼種、全径種への性能評価結果を要求される傾向にあります。評価対象を機械式継手に限らず、様々な継手性能評価試験をお客様へご提供いたします。

### 評価対象

◎ 継手工法  
機械式鉄筋継手  
(ネジ式・モルタル充填式等) ×  
溶接継手  
ガス圧接継手

◎ 鋼種  
(SD295～SD590)  
◎ 径種  
(D10～D51)  
国外鋼種や径種にも対応

### 評価方法

◎ 評価規格  
2020年版建築物の構造物関係  
技術基準解説書 ×  
土木学会コンクリートライブラリ128  
鉄筋継手・定着指針【2020年版】

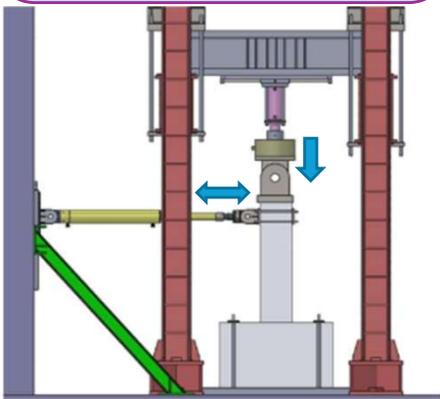
◎ 試験方法  
疲労試験  
一方引張試験  
一方繰返し試験  
弾性域正負繰返し試験  
塑性域正負繰返し試験

## 機械式鉄筋定着を使用したコンクリート構造体評価

土木学会発行の「コンクリートライブラリ128 鉄筋継手・定着指針」に記された手法を提案いたします。土木分野に限らず、建築評定に向けた評価試験も行うことができます。

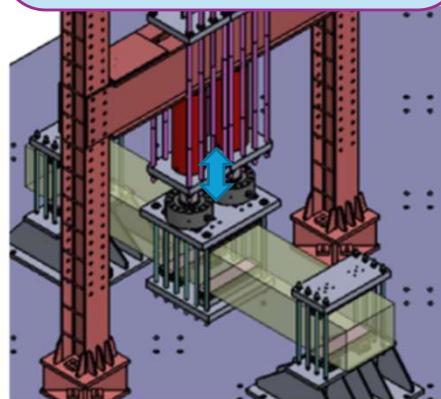
### 柱試験（靱性評価）

水平：±2MN・m/m  
鉛直：引2MN 押4MN



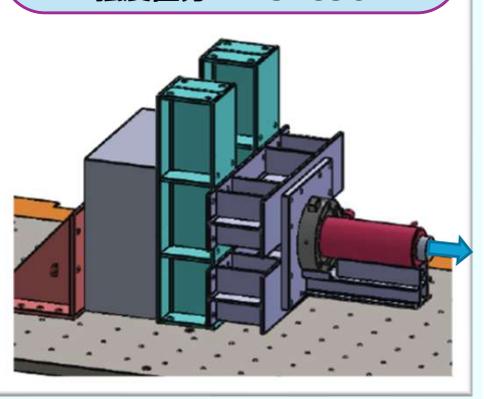
### 梁試験（せん断評価）

荷重：±4MN  
スパン：最大7m



### 引き抜き試験

鉄筋サイズ：～D51  
強度区分：～SD590



## 案件の流れ

ご要望に応じて、試験体製作(圧縮強度取得)や画像相関法等を使用したき裂や変形の可視化なども付加することができます。

御相談  
お打合せ

試験体図  
装置図  
試験方案検討

試験体製作  
装置・ジグ製作  
計測準備

試験

結果まとめ  
ご報告